

関戸の式三番

埼玉県指定無形民俗文化財・国選択無形民俗文化財に指定されている「関戸の式三番」の資料を展示しています。毎年10月第2土曜日の晩に関戸の愛宕神社で奉納されます。古い形の舞と推測され、謡の文句からは豊年を祝い、繁栄を祈る舞であることがわかります。



翁の舞



三番叟 (鳥跳び)



小鼓の皮と鈴



烏帽子 (三番叟)



千歳の舞



三番叟と千歳の掛け合い

民俗・民具

市指定無形民俗文化財「伊豆島 (いずしま) の大蛇」は、200 余年前、悪い病が集落内に入り込まないよう「魔除け、災難除け、疫病除け」として、大蛇を藁で作り破竹に刺し、集落境界2ヶ所に立てたことが始まりだとされています。毎年5月に実施されています。

このように地区の外から悪いものが入ってこないように行われる行事を『道切り』といいます。

市内には「お獅子様」、「百万遍 (ひゃくまんべん)」、「大般若 (だいはんにゃ)」などがあります。

このほか、市民の方から寄贈・寄託された民具資料の一部を展示しています。



伊豆島 (いずしま) の大蛇 市指定

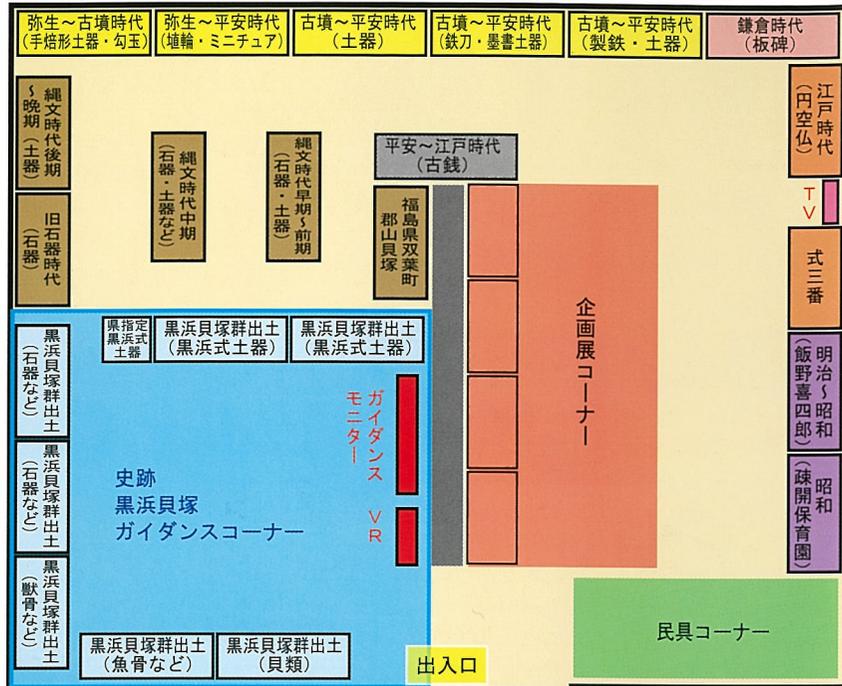
MEMO



記念スタンプも
あります!



館内展示図



交通案内

【公共交通機関での来館】

JR 宇都宮線蓮田駅東口から
バス (パルシー・根金・下大崎・
菅蒲仲橋・蓮田駅西口行き)
「蓮田市役所前」で下車
徒歩2分



【お車での来館】

蓮田市役所を目標に
お越しください。
本庁舎手前にあります。

ご利用案内

開館時間 午前9時から午後5時まで
休館日 月曜日、国民の祝日 (「こどもの日」、「文化の日」および、
祝日が土曜日・日曜日の場合は開館します)
館内整理日、年末年始

入館料 無料
所在地 〒349-0101 蓮田市大字黒浜 2801 番地 1
Tel・Fax 048-764-0991



蓮田市文化財展示館

史跡黒浜貝塚ガイダンスコーナー

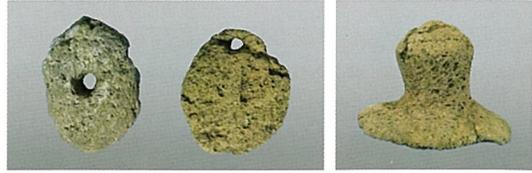


黒浜貝塚群出土遺物

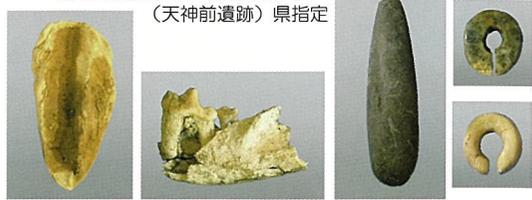
炭釜屋敷貝塚をはじめとする黒浜貝塚群出土の土器・石器などの出土遺物を展示しています。



黒浜式土器 (天神前遺跡) 県指定



軽石製石製品・軽石製浮子 (天神前遺跡) 県指定



養生痕のあるイヌ左側下顎骨 マガキ 乳棒状磨製石斧 球状耳飾

史跡黒浜貝塚の各種調査に基づく成果を動画で紹介。縄文クイズと竪穴住居建築ゲームもお楽しみください。

ガイドモニター



VR体験

VRゴーグルを装着し、位置、地形の確認、史跡の見どころや縄文海進の移り変わりをバーチャルリアリティーで見ることができます。



黒浜貝塚 AR アプリ

史跡の散策と学習のガイドシステムです。App Store, Google Play で DL 可能です (機種によってはご利用できません)。



【QRコードはこちらになります。】



メノウ 凝灰岩 真岩 黒曜石 接合資料 石器を作る道具として利用されました。 ナイフ形石器の使用方法 敲石

蓮田市域における、先人たちの生活の痕跡は約27,000年前にさかのぼります。蓮田市域は石のない地域ですが、栃木県北部、長野県茅科地方、諏訪地方、静岡県天城地方の石材による石器などが出土しています。

縄文時代

縄文時代は、土器と弓矢の発明を大きな画期とします。土器の登場により「煮炊き」が可能となりました。弓矢は槍よりも遠くまで飛ばすことができ、狩猟の対象が増えました。

約10,000年前から地球の温暖化が始まり、海が内陸部に浸しました(縄文海進)。約7,000~5,000年前の貝塚が、市内で発掘されています。この頃には「関山式土器」の標式遺跡である関山貝塚や「黒浜式土器」の標式遺跡である黒浜貝塚群など、市内で最も多くの貝塚が形成された時代でした。



尖頭器



貝層出土状況 (天神前遺跡)

弥生・古墳時代

弥生時代の遺跡は市内で16遺跡確認され、宿下遺跡からは再葬墓が発見されています。

今から約1,700年前には、全国で大規模な墓「古墳」を築き始めます。約1,400年前まで前方後円墳が各地で造り続けられ、この時代を古墳時代と呼んでいます。

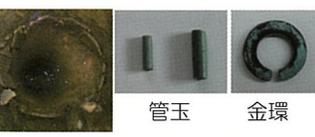
市内では十三塚遺跡など4遺跡で古墳が確認されています。古墳からは被葬者の副葬品として、金環や勾玉、直刀などが発見されています。



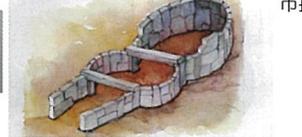
(ささら遺跡) 手焙形土器 古墳時代前期 市指定 (馬込八番遺跡) 長頸壺 (須恵器) 市指定



勾玉 市指定



再葬墓 弥生時代中期 (宿下遺跡)



十三塚古墳復元図



長頸壺 (須恵器) 市指定

奈良・平安時代

蓮田市域は「武蔵国埼玉郡」に属していました。市内では奈良時代の遺跡が4遺跡、平安時代の遺跡が12遺跡確認されています。荒川附遺跡・椿山遺跡など、その多くは砂鉄を原料とした製鉄に関連した遺跡です。



墨書土器 (荒川附遺跡) 市指定



小鍛冶工房想像図



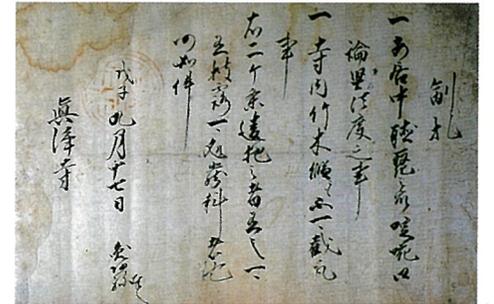
承和昌寶 (椿山遺跡) 市指定

皇朝十二銭の6番目につくられた貨幣。埼玉県内では唯一の出土例です。



延慶4年 (1311) 銘 板石塔婆 (寅子石) 県指定

この頃には県内2番目の大きさを誇る鎌倉時代の板石塔婆(寅子石)や岩付城主太田(北条)氏房から黒浜真浄寺に送られた制札(市指定文化財)、江ヶ崎久伊豆神社に關係すると思われる「鰐口」など貴重な資料が存在します。



太田氏房制札 (真浄寺文書) 市指定

江戸時代

市内には荒川の瀬替えのための堤防である備前堤や新田開発のために設けられた灌漑農業用水である見沼代用水(世界かんがい施設遺産)が残されています。見沼代用水は、元荒川や綾瀬川と交差する2ヶ所で、水の立体交差を造る難工事が行われました。

江戸時代前期の僧円空が彫った仏像が、市内でも御成街道に近い地域に多く残されています。県指定「矢島家円空仏群」18体のうち5体と下蓮田村で医業を営んでいた三浦家文書を展示しています。



矢島家円空仏群 県指定 (恵比寿天立像/毘沙門天立像/大黒天立像)



〔寛〕 薬種勘定仕切書 (三浦家文書) 市指定

明治・大正・昭和時代

明治4年(1871)の廃藩置県により、蓮田市域はすべて埼玉県に管轄されました。

東北本線蓮田駅の開業は明治18年(1885)と古く、地元の人々が敷地を献納することで実現されました。この記念として「蓮田駅記念碑」が建立されました。県議会議員であった飯野喜四郎は、蓮田市および埼玉県の発展に尽力した政治家・実業家です。

昭和19年(1944)、東京の愛育隣保館と戸越保育所が平野村の妙楽寺に「疎開保育園」を開園しました。妙楽寺の疎開保育園は、約1年間続き、一人も欠けることなく、昭和20年12月に解散しました。

昭和29年(1954)に蓮田町・黒浜村・平野村が合併し、新しい「蓮田町」が誕生し、昭和47年(1972)に蓮田市になりました。



蓮田駅記念碑 (部分) (蓮田駅西口) 市指定



飯野喜四郎 (昭和9年・単独賜謁にて)